

業務仕様書

(1. 目的)

この仕様書は、市営住宅揚水ポンプ等給水設備保守点検業務の適正を期するため、必要な事項を定め、施設の保守運転管理を行う事を目的とする。

(2. 業務の履行義務)

給水設備の運転管理を円滑に運営するとともに、給水設備の機能を十分に達成できるよう、完成図書、仕様書、契約書にもとづき保守点検業務を遂行するものとする。

(3. 業務の施設)

業務の施設は別紙の業務施設一覧表のとおりとする。

(4. 業務の内容)

業務の内容はポンプ設備等（受水槽等の付帯設備も含む）各機器の運転操作、監視記録及び保守点検管理と、これに付随する一切の業務とする。

主な内容は次の通りとする。

- 1) 点検時におけるポンプの運転及び確認管理
- 2) 設備各機器の整備点検及び簡易な修理
- 3) ポンプ室内の清掃及び環境整備、施設管理
 - ・市営千日町住宅及び向畑住宅のポンプ室周りについて、支障なく出入りができるように草刈りを行うこと。
 - ・全住宅のポンプ室内を定期的に清掃すること。
- 4) 点検及び報告事項の記録作成
- 5) その他、上記関連業務指示事項

なお、点検項目は下記のとおりとする。

① 6・9・12・3月の点検(重点点検)：(様式1)

「ポンプ関係」

| | |
|-------------|--------------|
| 本体外部の損傷 | 制水弁の損傷及び漏れ |
| 軸受けの加熱 | 逆止弁の損傷及び漏れ |
| 軸受けの磨耗状態 | フート弁の損傷及び漏れ |
| グラントパッキンの漏水 | 定水位弁の損傷及び漏れ |
| 呼水漏斗ロック類の漏水 | 定水位弁の損傷及び漏れ |
| カップリング軸芯 | 定水位弁のパイロット弁 |
| カップリングゴムの磨耗 | オーバーフロー管の詰まり |
| ドレン排水管の詰まり | 圧力計類の状態 |
| シャフト及び回転状態 | |

「モーター関係」

| | |
|----------|-----|
| 本体の異音・異臭 | 電流計 |
| 本体の加熱 | 電圧計 |

軸受けの異音
軸受けの加熱

満減水警報装置
電極棒の損傷及び絶縁状態

② 4・5・7・8・10・11・1・2月の点検(一般点検)：(様式2)

「ポンプ関係」

グラントパッキンの漏水

制水弁の損傷及び漏れ

呼水漏斗ロック類の漏水

逆止弁の損傷及び漏れ

カップリングゴムの磨耗

フレキ管の損傷及び漏れ

「付帯設備」

定水位弁の作動状況

オーバーフロー管の状態

満減水警報装置の作動状況

運転制御盤の状況

③ 貯水槽清掃時の点検：(様式3)

「付帯設備(受水槽)」

定水位弁の損傷及び漏れ

定水位弁ホールタップの点検

定水位弁のパイロット弁ゴム取替

満減水時の電極棒点検・清掃

定水位弁のパイロット弁のフィルター清掃

※ ただし、③の点検は、事前に市住宅課に貯水槽清掃日時を確認した上で①又は②の点検と同時に実施するものとする。

(5. 各種機器の運転)

受託者は揚水ポンプ設備及び関連施設を常に良好に保守するとともに、機器類を整備点検し、試運転等によりポンプ施設の正常な状態を維持しなければならない。

(6. 管理・主任技術者等の報告)

受託者は管理・主任技術者を定めた通知書及び、氏名・生年月日・資格免許・職歴等を記載した経歴書を提出しなければならない。主任技術者は契約書、仕様書及び現場業務内容を熟知し委託者との連絡を緊密にとりながら業務を適正、円滑に遂行しなければならない。

なお、業務従事者の全員の氏名・連絡先を記した一覧表を提出しなければならない。

(7. 業務従事者の取消し)

業務の従事者で業務上不適切と認めた者がある場合は、受託者は委託者の指示に従い適宜の配置をとるものとする。

(8. 点検報告書等の提出)

受託者は次に掲げる書類を作成し、委託者に翌月一週間以内に提出し、報告しなければならない。

1) 点検報告書(第1号～3号様式)

住宅ごとに月に応じた点検報告書を提出すること。

6ヶ月点検及び年次点検時には、その分も合わせて提出すること。

2) 打合せ簿(第4号様式)

市に対して報告事項がある場合、記入すること。（点検報告書等の提出報告時、及び電話での連絡報告も含む。）

3) 業務写真

作業場所・作業種別ごとに、作業状況がはっきりとわかるように撮影し、なお、業務名・作業場所・作業名・作業日等を表示した小黒板等を入れて撮影すること。

(9. 業務の報告等)

受託者は委託者の定める点検表等及び業務の経過上、必要な書類を常に整理して業務事項を明らかにするとともに、委託者から提出を求められた場合は速やかに提出しなければならない。

(10. 業務従事者の勤務)

業務従事者の勤務については労働基準法及び関係法令を順守し、勤務させなければならない。

(11. 労務管理)

受託者は業務従事者の労務管理の一切の責任を負うものとし、本業務の公共の重要性及び特殊性に鑑み労務管理に留意しなければならない。

(12. 業務従事者の安全管理)

業務上危険が伴う作業については従事者に対し、常に労働安全の指導と向上を図り事故の防止に努めなければならない。

(13. 業務従事者の保健衛生と管理)

業務従事者の保険衛生及び管理に留意し就労させるものとする。

(14. 緊急事態発生時の勤務体制)

故障等の緊急事態発生時に備え、勤務外動員の非常呼び出しに応じられる体制を確立しなければならない。（土曜・日曜・祝祭日・年末年始の休日を含む。）

なお、緊急時連絡先を報告すること。

(15. 経費の負担)

業務の遂行に必要な現場連絡等の緊急時の対応は受託者負担とする。

(16. 連絡)

受託者は施設に異常又は故障が発生した場合は、直ぐに委託側管理者に連絡し、その指示により業務に支障を期さないよう措置しなければならない。

(17. 疑義事項)

この仕様書に定める他の事項について疑義が生じた場合は、委託側管理者と協議し解決を図るよう努めなければならない。

業務施設一覽表

| 住宅名 | 給水設備 (受水槽・ポンプ・電動機) | | | | | |
|------------|--------------------|------|-----|-----|-----------|-------------------|
| 向 畑 | 受 水 槽 | 材質 | FRP | 容 量 | 3.4ton | |
| | ポンプ NO1 | メーカー | エバラ | 揚水量 | 300 l/min | 揚程 18.5m、口径 40mm |
| | ポンプ NO2 | メーカー | エバラ | 揚水量 | 300 l/min | 揚程 18.5m、口径 40mm |
| | 同上電動機 | メーカー | エバラ | 電 圧 | 200V | 電流 15.0A、1.5kW×2台 |
| 井 路 | 受 水 槽 | 材質 | FRP | 容 量 | 5.0ton | |
| | ポンプ NO1 | メーカー | 川本 | 揚水量 | 140 l/min | 揚程 35.0m、口径 40mm |
| | ポンプ NO2 | メーカー | 川本 | 揚水量 | 140 l/min | 揚程 35.0m、口径 40mm |
| | 同上電動機 | メーカー | 川本 | 電 圧 | 200V | 電流 6.5A、台数 2台 |
| 野 畑 | 受 水 槽 | 材質 | FRP | 容 量 | 10.0ton | |
| | ポンプ NO1 | メーカー | エバラ | 揚水量 | 140 l/min | 揚程 34.8m、口径 40mm |
| | ポンプ NO2 | メーカー | エバラ | 揚水量 | 140 l/min | 揚程 34.8m、口径 40mm |
| | 同上電動機 | メーカー | エバラ | 電 圧 | 200V | 1.5kW×2台 |
| 井路西 | 受 水 槽 | 材質 | FRP | 容 量 | 12.0ton | |
| | ポンプ NO1 | メーカー | 川本 | 揚水量 | 140 l/min | 揚程 35m、口径 50mm |
| | ポンプ NO2 | メーカー | 川本 | 揚水量 | 140 l/min | 揚程 35m、口径 50mm |
| | 同上電動機 | メーカー | 川本 | 電 圧 | 200V | 1.5kW×2台 |
| 井路南 | 受 水 槽 | 材質 | FRP | 容 量 | 5.0ton | |
| | ポンプ NO1 | メーカー | 川本 | 揚水量 | 130 l/min | 揚程 33m、口径 40mm |
| | ポンプ NO2 | メーカー | 川本 | 揚水量 | 130 l/min | 揚程 33m、口径 40mm |
| | 同上電動機 | メーカー | 川本 | 電 圧 | 200V | 0.75kW×2台 |
| 丸尾南 A 棟 | 受 水 槽 | 材質 | FRP | 容 量 | 5.0ton | |
| | ポンプ NO1 | メーカー | 川本 | 揚水量 | 50 l/min | 揚程 11.5m、口径 32mm |
| | ポンプ NO2 | メーカー | 川本 | 揚水量 | 50 l/min | 揚程 11.5m、口径 32mm |
| | 同上電動機 | メーカー | 川本 | 電 圧 | 200V | 電流 8.4A、0.75kW×2台 |
| 丸尾南 B 棟 | 受 水 槽 | 材質 | FRP | 容 量 | 5.0ton | |
| | ポンプ NO1 | メーカー | 川本 | 揚水量 | 50 l/min | 揚程 11.5m、口径 32mm |
| | ポンプ NO2 | メーカー | 川本 | 揚水量 | 50 l/min | 揚程 11.5m、口径 32mm |
| | 同上電動機 | メーカー | 川本 | 電 圧 | 200V | 電流 8.4A、0.75kW×2台 |

| | | | | | | |
|-----------|---------|------|--------|-----|------------|-------------------|
| 片桐東 D棟 | 受水槽 | 材質 | SUSハネル | 容量 | 9.0ton | 2槽式 |
| | ポンプ NO1 | メーカー | テラル | 揚水量 | 220 l /min | 揚程 40.0m、口径 50mm |
| | ポンプ NO2 | メーカー | テラル | 揚水量 | 220 l /min | 揚程 40.0m、口径 50mm |
| | 同上電動機 | メーカー | テラル | 電圧 | 200V | 電流 8.4A、1.5kW×2台 |
| 片桐東 E棟 | 受水槽 | 材質 | SUSハネル | 容量 | 12.0ton | 2槽式 |
| | ポンプ NO1 | メーカー | 川本 | 揚水量 | 141 l /min | 揚程 44.0m、口径 40mm |
| | ポンプ NO2 | メーカー | 川本 | 揚水量 | 141 l /min | 揚程 44.0m、口径 40mm |
| | 同上電動機 | メーカー | 川本 | 電圧 | 200V | 電流 5.5A、1.1kW×2台 |
| 千日町 | 受水槽 | 材質 | FRP | 容量 | 15.0ton | |
| | ポンプ NO1 | メーカー | エバラ | 揚水量 | 220 l /min | 揚程 35.0m、口径 40mm |
| | ポンプ NO2 | メーカー | エバラ | 揚水量 | 220 l /min | 揚程 35.0m、口径 40mm |
| | 同上電動機 | メーカー | エバラ | 電圧 | 200V | 電流 15.0A、2.2kW×2台 |

※丸尾団地については、水道直圧運転（ポンプ・受水槽等不使用）

点検報告書

令和 年 月 日

| | | | | | |
|-------------|----------|------|-------------|------|------|
| 住宅名 | | | 管理・主任技術者 | 印 | |
| 機種 | | | | | |
| 点検日 | 令和 年 月 日 | | 点検者 | 印 | |
| | | | | | |
| ポンプ関係 | NO.1 | NO.2 | モーター関係 | NO.1 | NO.2 |
| 本体外部の損傷 | | | 本体の異音・異臭 | | |
| 軸受けの加熱 | | | 本体の加熱 | | |
| 軸受けの磨耗状態 | | | 軸受けの異音 | | |
| グラントパッキンノ漏水 | | | 軸受けの加熱 | | |
| 呼水漏斗コック類の漏水 | | | 電流計 | | |
| カップリング軸芯 | | | 電圧計 | | |
| カップリングゴムの磨耗 | | | 満減水警報装置の状況 | | |
| ドレン排水管の詰まり | | | 電極棒の損傷・絶縁状態 | | |
| 制水弁の損傷及び漏れ | | | | | |
| 逆止弁の損傷及び漏れ | | | | | |

| | | | | |
|--------------|--|--|---|--|
| フット弁の損傷及び漏れ | | | | |
| 定水位弁の損傷及び漏れ | | | チェック記号 (レ) 異常無 (×) 異常有 (△) 手直・調整済 (備考欄に内容の記入) | |
| 定水位弁のパイロット弁 | | | | |
| オーバーフロー管の詰まり | | | | |
| ピットの汚れ状態 | | | | |
| 圧力計類の状態 | | | | |
| シャフト及び回転状態 | | | | |
| (備考) | | | | |

6・9・12・3月の点検時に提出する。

点 検 報 告 書

令和 年 月 日

| | | | | |
|--------------|----------|----------|-------|------|
| 住宅名 | | 管理・主任技術者 | 印 | |
| 機種 | | | | |
| 点検日 | 令和 年 月 日 | 点検者 | 印 | |
| ポンプ関係 | | | NO.1 | NO.2 |
| グラントパッキンノ漏水 | | | | |
| 呼水漏斗コック類の漏水 | | | | |
| カップリングゴムの磨耗 | | | | |
| 制水弁の損傷及び漏れ | | | | |
| 逆止弁の損傷及び漏れ | | | | |
| フレキ管の損傷及び漏れ | | | | |
| 付帯設備 | | | チェック欄 | |
| 定水位弁の作動状況 | | | | |
| 満減水警報装置の作動状況 | | | | |

| | |
|--|--|
| オーバーフロー管の状況 | |
| 運転制御盤の状況 | |
| | |
| <p>チェック記号 (レ) 異常無 (×) 異常有 (△) 手直・調整済 (備考欄に内容の記入)</p> | |
| <p>(備考)</p> | |

4・5・7・8・10・11・1・2月の点検時に提出する。

点検報告書

令和 年 月 日

| | | | |
|---------------------|----------|----------|-------|
| 住宅名 | | 管理・主任技術者 | 印 |
| 機種 | | | |
| 点検日 | 令和 年 月 日 | 点検者 | 印 |
| 付帯設備（受水槽） | | | チェック欄 |
| 定水位弁の損傷及び漏れ | | | |
| 定水位弁ハ°イロット弁コム取替 | | | |
| 定水位弁ハ°イロット弁のフィルター清掃 | | | |
| 定水位弁ホ°-ルタップ°の点検 | | | |
| 満減水等の電極棒点検・清掃 | | | |
| フレキ管の損傷及び漏れ | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

チェック記号

(レ) 異常無

(×) 異常有

(△) 手直・調整済

(備考欄に内容の記入)

(備考)

この報告書は貯水槽清掃時に実施し提出する。